



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和5年6月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

## ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

## ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和4年12月26日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

## 日医認定産業医研修(令和5年6月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
5月9日(火)	10時～	6月6日(火)	14時～16時	海外派遣労働者の健康管理～新型コロナウイルス対策も含めて～	専門2
5月10日(水)	10時～	6月28日(水)	14時～16時	第14次労働災害防止計画の概要と重点	更新2
5月11日(木)	10時～	6月15日(木)	14時～16時	職場復帰支援のあり方	専門2
	10時30分～	6月22日(木)	14時～16時	治療と仕事の両立支援	専門2
	11時～	6月29日(木)	14時～16時	産業保健と法～休復職と法～	更新2
5月12日(金)	10時～	6月16日(金)	14時～16時	最近における労働衛生法令等の動向	更新2
	10時30分～	6月23日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
6月6日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 5月9日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	海外派遣労働者の健康管理～新型コロナウイルス対策も含めて～ 社会のグローバル化に伴い、海外に社員を派遣する企業が増えています。こうした海外派遣社員には感染症など様々な健康問題があり、それに対応するための健康管理対策が求められています。本研修では、産業医が海外派遣労働者に提供すべき健康管理対策について、新型コロナなどの感染症対策を含めて解説します。	濱田 篤郎	生涯・ 専門2	45
6月15日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 5月11日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・ 専門2	45
6月16日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 5月12日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了	最近における労働衛生法令等の動向 最近の労働衛生の主要な法令改正、通達を学び、産業医活動のレベルアップに資する。	石井 義脩	生涯・ 更新2	45
6月22日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 5月11日(木) 10時30分～ 定員に達し次第 受付終了	治療と仕事の両立支援 がんや心疾患、脳血管疾患等の疾病を抱え、治療と仕事を両立している労働者は少なくありません。一方で、十分な職場での配慮を受けることができず、治療と仕事の両立をあきらめざるを得ないケースもみられます。本研修では、望ましい両立支援の在り方について、特に産業医の立場から検討します。	内田 和彦	生涯・ 専門2	45

<p>6月23日(金)</p> <p>13:30～16:30</p> <p>申込受付日時 5月12日(金) 10時30分～ 定員に達し次第 受付終了</p>	<p><b>作業環境測定方法</b></p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	<p>小嶋 純</p>	<p>生涯・ 実地3</p>	<p>16</p>
<p>6月28日(水)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月10日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p><b>第14次労働災害防止計画の概要と重点</b></p> <p>新しい労働災害防止計画が、令和5年度からの5か年計画として始まります。労働災害防止計画は、労働安全衛生法に基づき厚生労働大臣が策定するものであり、国、事業者、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項を定めています。重点事項として、安全衛生対策に取り組む企業が社会的に評価される環境整備、筋力等を維持するための運動プログラムの導入を含めた転倒災害・腰痛の防止対策の推進、高齢労働者の労働災害防止対策の推進、メンタルヘルス対策・過重労働対策・産業保健活動の推進、化学物質の自律的管理の推進などが定められています。この計画の概要と重点について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・ 更新2</p>	<p>45</p>
<p>6月29日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月11日(木) 11時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p><b>産業保健と法～休復職と法～</b></p> <p>メンタルヘルス不調その他の難治性疾患のり患者の休職・復職に関わる法的留意点につき、関係判例等に照らして解説します。</p>	<p>神奈川弁護士会 弁護士 丸山 慧師</p>	<p>生涯・ 更新2</p>	<p>45</p>

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**5月15日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
6月1日(木) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> 産業保健スタッフが知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&amp;ツール⑧</p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 「第14次労働災害防止計画」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNS相談」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。 また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。 希望者には当日使用したスライドや情報元となるURL一覧を差し上げます。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
6月7日(水) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座③</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本講座ではテキストに当センター発行「令和4年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向も紹介します。 今回はその3回目、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等について解説します。 本講座は令和4年度に実施した同名の講座と同様の内容となっていますが、令和4年に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。 なお、「令和4年度版労働衛生のハンドブック」は、当センターのホームページに掲載しております。</p>	中山 篤	45
6月12日(月) 14:00～16:00	<p>社内研修の進め方～ラインケア～</p> <p>コロナ体制下ではコミュニケーションの在り方、距離感等が注目され、ラインケアの必要性が再認識されておりました。 コロナ(with, after)とともに進めるラインケアについて、最至近のトピックスを含めた社内研修内容を提供したいと考えています。</p>	松井 知子	45
6月13日(火) 14:00～16:00	<p>小売業・飲食店における労働災害防止の進め方</p> <p>小売業、飲食店の労働災害は未だ増加傾向にあり、わが国の労働災害防止推進上の大きな課題です。 本研修では、小売業、飲食店の労働災害を防止するため、職場巡視等に役立つ業態別の労働災害の特徴、労働災害を防止させた企業の労働災害防止対策の具体的な取り組み好事例、さらには、これら業種で最も多発している転倒災害を防止するため、転倒災害の心理的・内的要因、転倒経験者インタビュー調査結果、転倒リスクに係る身体機能低下の計測方法例、転倒予防体操事例、運動器外傷データを用いた転倒データ分析結果などを紹介します。</p>	労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員 高木 元也	45
6月14日(水) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わりについて～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わり」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。</p>	吉田 守	45
6月19日(月) 14:00～16:00	<p>知っておくと便利な自前で出来る社内研修のツール～コミュニケーション研修の進め方～</p> <p>研修の計画・実施担当者は、研修にはどんな業務が発生するのか、何から手をつけたら良いかに苦労していただくとお思います。 研修には実施の目的や考え方が異なるため、計画を立てる前に、まずは業務の全体像を把握することが大切です。 本研修ではコミュニケーション研修内容や研修方法、カリキュラム計画について話します。</p>	森崎 美奈子	45

<p>6月21日(水) 14:00～16:00</p>	<p><b>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</b></p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになりますので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	<p>スポーツケア整体研究所 (株) 小沼 博子</p>	<p>29</p>
<p>6月26日(月) 14:00～16:00</p>	<p><b>病気をもつ労働者と職場へのより良い支援のために～治療と就労のバランスを支えるヒント～</b></p> <p>本研修では、近年増えている病気(がん、難病など)をもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。 グループワークの代わりに、研修内でワークシートを記入・提出いただくことで質問・考えを共有しながら、全員で学びを深めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両立支援度チェック</li> <li>・事例をもとに、がんをもつ社員の就労支援を考える</li> <li>・勤務スケジュールの配慮</li> <li>・職務内容の配慮と、同僚への伝え方</li> <li>・両立を支える職場づくり</li> </ul> <p>※本研修では個人ワークを行い、提出いただいた内容を講師が共有させていただきます。</p>	<p>佐々木 美奈子 伊藤 美千代</p>	<p>45</p>
<p>6月27日(火) 14:00～16:00</p>	<p><b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b></p> <p>定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。</p>	<p>高山 俊政</p>	<p>45</p>